



福岡市佐賀県人会会報



全国的に話題となった格安宅地「1坪100円宅地」

村が平成8年度より過疎対策として取り組んだ宅地造成は、全国から523戸の応募があり、抽選で19戸が入居され1区画約130坪の宅地に住居、車庫、家庭菜園等恵まれた自然環境のなかで脊振村を満喫されています。福岡県からも5戸入居されています。

目次

表紙	脊振村 全国的に話題となった格安宅地「1坪100円宅地」
平成12年 新春懇親会	2~3
ご挨拶 自治大臣・国家公安委員長 保利耕輔氏	4
ふるさとの首長・ふるさと紹介(脊振村 山口三喜男村長)	5
福岡うれしの会	6
創設50周年記念総会特別企画案内	7
このごろ私は(吉永生一さん、江川洋さん、稲田繁生さん、脇山信さん、今村正明さん)	8~9
佐賀県だより	10~11
敬弔 無津呂繁美副会長・佐賀情報センターだより・編集デスク	12

40

2000.2

とうございます。佐賀県選出の先生方が国家の運営に重要なポストで活躍されておられますけれども、当佐賀県人会としても非常に嬉しく感じる次第でございます。又、ご承知のように、本年度はサミットの年で、福岡では蔵相会議が開催されます。それに伴い、筑肥線の複線化や福岡市内の道路整備、地下鉄三号線の工事等で交通アクセスは益々便利になり福岡県と佐賀県の境はなくなっているのが現状です。次に、昨年はダイエーホークスが優勝したり、年末の女子高校駅伝では井浦先生のところの筑紫女学園が優勝するとか、福岡は全国的にも活気のある都市として注目を浴びておりますし、演劇面でも博多座の歌舞伎など、今後益々楽しみな町になっていくようでございます。

これから、時代の変化と共に、予期せぬ事態が起こるかもしれません。当県人会の皆様には、この会を通して親しくして頂き、今後とも福岡市の発展の為に協力し、宜しくお願い申し上げます。措辞ではございますが、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。



実行委員の面々



富士町の皆さん



指山副会長の乾杯



観劇券の当たった小島さん



宿泊券の当たった船津さん

「乾杯です！」

さて、喉も乾いたところで、サアお待ちかね、指山副会長の音頭で「かんぱーい」の大合唱。新千年紀、二〇〇〇年の幕開けです。

さて、半年ぶりの挨拶も一段落し、二〇〇〇年問題にも多少の不安を残しながら、恒例の福引き大会が始まりました。もちろん、司会にはパンパカリンでお馴染みの清村理事です。今年も賞品はかなり豪華版です。

まず、一番手は太田常任理事提供のからかん饅頭、続いてツルカメ漢方本店の沢村理事より強壮ドリンク剤、又三千円と五千円の全国お買い物券や佐賀の地酒二十四本、さらに小島さんからウール一〇〇%のセーターや千鳥屋の原田社長からは手作りのドイツチョコレート等のご提供があり、紙面をお借りして、お礼申し上げます。

又、今年は七月一日の総会でのイベント「真昼の朝市」で使用できる「さやあもん券」を三〇〇枚準備しました。当たった方は当日まで大事にと

最後に、博多座の松本社長の抽選でペア観劇券の福引きが行われ、嬉野町の林谷誠さん他四名の方に当たりました。当たらなかった方は、又来年までのお楽しみですよ。

それでは、皆さん、七月一日の五〇周年総会でまた会いましょう！(文・責 水間)

平成12年

福岡市佐賀県人会新春懇親会

平成12年1月28日(金)

平和桜本店



金子会長
年頭の挨拶



辻 副会長
開会の挨拶

このような、様々な人の様々な思いを乗せて、世紀末の二〇〇〇年一月二十八日(金)、福岡市天神の平和桜本店で、恒例の「福岡市佐賀県人会」が開催されました。

今年も暖冬で明けましたが、月末から寒気団が入り、かなり寒さが厳しかったのですが、そこは葉隠武士道の子孫、百五十名を越す参加者で会場は溢れかえり、県人会の絆の強

さ、改めて実感させられました。

さて、例年通り井上理事の司会で、辻副会長の言葉「今年には暖冬と言うことで安心して参りました。昨日は雪が降って参りまして、自然の力の大きさと人知を越えた大きな力を感じました。それを逆に考えますと、今まで不景気に不景気と言っていたんです

もなく迎える訳でございますけれども、当佐賀県人会も会員数五百三十五名と言うことで、本日も多数ご出席頂きまして、誠にありがとうございます。当県人会も戦後昭和二十六年に復活されてから本年の定期総会で五十年を迎えると言う節目に当たっております。いろいろ会員の皆様の企画で、記念すべき大会にした

監事	理事	代表理事	常任理事	副会長	会長
久保悦次	古賀利治	清水克行	前田文敏	水間繁俊	落合良太
小松省己	沢村利次	井上浩輔	上川正雄	田中則吉	太田勇吉
田中秀男	山下廣人	井浦順爾	永倉遵五郎	森弘養	指山弘養
辻長英	金子宜嗣				

福岡、佐賀両県にまたがる筑紫山脈、その最高峰脊振山（一、〇五五メートル）の南麓に位置する脊振村は八十九パーセントが林野という純山村であります。脊振山を源流とする城原川は村内の農地を潤し、いたるところに滝や淵をつくり清流と豊かな自然に恵まれた農林業の村です。

特に村有林事業は明治の徳川村長時代に村民一丸となり、「五十年後の豊かな村を築く」一大プロジェクトが実施され、役場、学校、診療所、公民館等々公共施設はすべて村有林によって賄われ豊かな財源を築き、昭和三十四年、一年間でありましたが村民税廃止を決議、日本中に「無税の村」として脚光を浴びる時期もありましたが、今日では反対に厳しい財政事情となっており

ます。昭和四十八年のオイルショック以降、高度経済成長と共に、農林業の衰退は過疎化に転じ、新たな対策が必要となり、平成八年度より「一坪百円」の宅地造成を実施しましたところ全国的な反響を呼び、抽選会には、静かな村に一千人の人で賑わいました。第一弾十九戸、七十余名の村民が誕生、又第二弾（平成十年度）は十五戸、六十余名が確定し現在建築中であります。市、久留米市、福岡市まで通勤一時間以内という好条件と豊かな自然環境が今後の村発展の基軸となると確信するものです。また、農業においても山間地の特性を活かした高冷地野菜、花卉園芸等、量より質に重点を置いた施策が徐々に定着しつつあります。

「溪流に映る緑と森林の里」

「こころやすらぐ脊振村」

ふるさと紹介



脊振村
山口三喜男 村長

ふるさと紹介 脊振村

脊振村は海拔一〇〇メートルから、一、〇〇〇メートルという急峻な地形にあって二十三集落が点在し、人口一、九〇〇人の村です。高低差の大きい地形は多種多様な景観をつくり、四季のおとずれが春は南部から北部へ、秋は北部から南部へと移り変わり、その趣を様々な形で楽しむことができます。特に春は桜、こぶし、山桜、三葉つじなど一ヶ月以上観ることができ、又、秋は脊振村のぶな林の紅葉にはじまり、もみじ、いちよう、カエデ、ハゼと緑の山々にひとときわ鮮やかな色どりは大自然の営みを人々の心に深い感銘とやすらぎを与えてくれます。脊振村は古くから山岳信仰で栄え、仏教の伝来と共に、中国への往来の拠点として名だたる高僧栄西禪師が立ち寄ったところで、「日本茶発祥の地」として全国に

脊振の地名が知られるところとなっており、江戸時代には福岡黒田藩との国境争いで江戸幕府の裁断が下ったという歴史的な山でもあります。現在は、国土を守る鎮西の眼として航空自衛隊第四十三警戒群基地があります。山頂からは福岡市街の夜景や遠く阿蘇の嶺々、大蛇のような筑後川、湖のような有明海、など様々な稜線をみせる雲仙岳や多良岳、北は玄界灘と三六〇度のパノラマが開け、基山から九千部山、脊振山、金山、北山湖経由で天山に至る九州自然歩道もあり、年間七万人を超えるハイカーが訪れています。

変化に富んだ脊振村には高冷地野菜（ホウレンソウ、ピーマン）や椎茸、干柿、さしみコンニャク、たけのこ、よもぎもちなどの特産品に四季の山菜も豊富にあり、自然を活かした高取山公園



「わんぱく王国そよ風の丘」

高取山公園

福岡市から車で一時間以内で緑豊かな自然とふれあうことができる「わんぱく王国そよ風の丘」高取山公園は、モノライダー、延長二〇〇mに及ぶスライダーの他に農業体験館（椎茸栽培、干柿づくり、製茶体験等）農産物直販所があり、四季を通じて大人から子供まで自然とふれあうことができ都市との交流の拠点として整備され、観光客も年々増加しています。

を都市との交流拠点として今後の村づくりを進めております。

自治大臣・国家公安委員長 保利耕輔氏

ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様方にはお元気で、平成十二年のよき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



を感じずにはられません。然し、これもご支援をいただいた郷土の皆様のおかげであり心から感謝を申し上げます。全力をあげて与えられた職務を果たしてまいらねばならぬと感じております。

さて、我が国の経済はバブル崩壊後の回復が思わしくなく、金融不安などが重なり、長期にわたる低迷が続いております。政府はこの対策に思い切った減税を行い財政出動による公共投資、中小企業対策を遂行してまいりました。ようやくこのところ景気回復の曙光が見え始めましたが、これを本格的回復の軌道に乗せるため、もう一段の財政出動が要請されております。

しかし、一方で国や地方自治体の財政状況は著しく悪化し、早期の景気回復が何としても必要になっております。本格的な回復のためには国民総生産の大層を占める個人消費と民間設備投資が動きはじめ拡大されることが必要であり国民全体で景気の立て直しに取り組んでいかねばならぬと強く感じているところでございます。

明るい二十一世紀を展望する今年、私は郷土の発展を願いつつ、明るく希望に満ちた日本を創るため努力を傾注してまいりたく存じます。

西暦二千年という節目の年を迎え気持ちを新たにされている事とおもいます。

昨年十月五日、私は自治大臣・国家公安委員長を拝命いたしました。平成二年の文部大臣就任について二度目の入閣で大変に名譽に思うと同時に責任の重大さ

税を切り、我が国の経済はバブル崩壊後の回復が思わしくなく、金融不安などが重なり、長期にわたる低迷が続いております。政府はこの対策に思い切った減税を行い財政出動による公共投資、中小企業対策を遂行してまいりました。ようやくこのところ景気回復の曙光が見え始めましたが、これを本格的回復の軌道に乗せるため、もう一段の財政出動が要請されております。

皆様方と共に、我々の子孫の為に立派な基盤を創り上げ残して行くことはありませんか！

福岡市佐賀県人会皆様方のご多幸と御健勝並びに御活躍をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

ほつとするね

ふるさと・唐津の海が お出迎えします



唐津シーサイドホテル

☎847-0017 佐賀県唐津市東唐津虹の松原 ホームページ <http://www.seaside.karathu.saga.jp>

★ご予約・お問合せは…★ シーサイドお客様センター ☎ 0955-75-3200

【本社】昭和自動車株式会社 〒847-0041 佐賀県唐津市千代田町2565-5 TEL0955-74-1111

再発見さが！

真昼の朝市

西暦2000年というこの年は、
奇しくも、「福岡市佐賀県人会」にとって創設50周年に当たります。

まずは、福岡のみなさまのために

日ごろお世話になっている福岡のみなさまには、
居ながらにして素晴らしい「さが」を感じてもらい、触れてもらおう

そして、ふるさと佐賀のために

隣接する一大経済圏・福岡の市民に「さが」を再発見してもらって
佐賀の商業や観光市場の拡大、経済活性化のお役に立てれば・・・

さらに、21世紀の世界のために

会場では募金をつのって、
21世紀の地球や子供たちのために役にお役に立てたいと考えております。
ご協力ください。

2000年7月1日(土) 於 KKRホテル博多2F貸し切り
予定のスケジュール (一部変更があるかもしれません)

	大宴会場	小宴会場・ロビー
11:00	会員のみで 記念式典とパーティー	
12:00	「真昼の朝市」開店セレモニー	
	会員も買い物客も休憩、飲食自由 同時に舞台では郷土芸能、ゲーム、福引その他が進行	「真昼の朝市」 佐賀の10～15市町村からの出店を見込む 嬉野茶野点コーナーなども思案中
16:00	閉店セレモニー	

同封のチラシで

ご近所・ご友人・お知り合いに PRして下さい

例年は御無沙汰の会員のみなさまも、今年ばかりは全員出席！

「福岡市佐賀県人会」創設50周年記念総会特別企画実行委員会

産声を上げた

「うれしの福岡会」

人には二つのふるさとがある
と言います。一つは自分が
生まれたふるさと、もう一つ
は自分を育ててくれたふるさと。
山があつて、川があつて、
そして幼馴染がいて・・・

平成十一年十一月二十日晩
秋の土曜日、午後一時半より
福岡の国際ホールで「うれし
ののつどい」が開催されまし
た。地元嬉野からは大型バス
一台を貸し切つて、谷口町長
や三役始め、小原商工会会長、
廣川温泉観光協会副会長等嬉
野の各界の役職者と、町議会
議員、おかみの会、各地区婦
人会を含め五十名程の大応援
団が駆けつけました。



パネルディスカッション風景

午後一時半より会場を二つ
に分け、コーディネーターに
西日本新聞の吉儀事業局長
を迎えパネルディスカッショ
ンが開始されました。
テーマは「うれしのを二十
一世紀に輝かせるために」①
福岡から見た今の故郷はどう
見えるか！②故郷を誇りに思
うために希望することは。③
観光「嬉野」をPRするため
には(地場産業との関連は)。
④福岡と嬉野をより身近に感
じるためには。⑤若者から見
たうれしのは！
の5項目をそれぞれの立場
から順に、福岡工業大学教務
部長の今村正明氏、大福うど
ん会長熊本幸子氏、嬉野商工
会会長小原健史氏、JTB海
外旅行九州支店開発課長折居
浩二氏、九州大学在学中の田
中丈晴氏が持論を展開されま
した。その中で、今村先生の
言われた「嬉野は、最近では
長崎への通過点になっている
のではないか。」と言う一言
が今でも強く印象に残ってい
ます。



谷口町長の挨拶

さて、二時間のディスカッ
ションが終了する頃には、参
加者は百二十名を越す勢いとな
り、懇親会場は超満員にな
ってききました。
その中で、主催者側を代表
して谷口町長より次のような
挨拶がありました。
「第一回の福岡でのうれしの
のつどいを開催するにあたり、
ご挨拶申し上げます。
さて、当町では、うれしの
クラブを結成し全国主要都市
でふるさとデーを行ってまい
りましたが、一番身近な福岡
での結成と開催ができていま
せんでした。
この度、嬉野町出身者で福
岡在住の皆様のお力添えと参
加を頂き「うれしののつどい」
IN福岡が開催できますこと
に対し、厚くお礼申し上げます。
嬉野町も二十一世紀を目前
に控え、九州新幹線嬉野駅の
決定を見ましたが、少子、高



嬉野の女性リーダーの皆さん



鏡割り

齢化社会、高度情報化社会へ
の対応と変革を求められてい
ます。二十一世紀に向けて「元
気になる、元気にさせる」町
づくりを実施してゆかために
は、皆様の暖かいご指導、ご
支援を必要としております。
この会を機にうれしのクラブ
等を結成して頂き、末永い嬉
野町との付き合いを願うも
のです。」



井上会長新任の挨拶

これから福岡と嬉野の掛け
橋になって、会員相互の親睦
と嬉野の発展のために、この
会が大きくなる育てば、自分
を育ててくれた「うれしの」に
少のご恩返しが出るのでは
ないかと思ひます。皆様方
のご指導ご鞭撻の程、宜しく
お願い致します。
(文・責 うれしの会
事務局 水間繁俊)



て居る事でした。中国一日目の夜、ホテルでの夕食会で、まずもって驚いたのは、蛙の姿焼が出た時、皆さん唖然として箸が進まない様で、私は好奇心だけで、口に入れたんですが、美味しく、他の人の分まで頂戴して、すっかり満足して居ました。後程聞いた最高級のもてなしと云う事で又々驚嘆！その後中国何千年の歴史の建物を見学。全べてが重みを感じた。次の都市まで移動する汽車の中の寒くて寒くて震えが止まらなかった事、山が全くなく大平原の中を颯爽と走って行く！食事にも環境にも慣れた頃帰国、掛け足の旅行でした。今回の中国旅行で印象に残った事は、広い中国の地方の旅でしたが、豊かさを目指す中国と成熟し終えて、目指す物を見失った様に思える、日本とのギャップを考えさせられた旅でもありました。

福岡市東区の福岡工業大学に勤務しています。現在二〇〇〇年一月、年が明けて入学試験のシーズンになりました。現在多くの私大が大学入試センター試験を利用しています。私の勤務する大学は九年前からこの試験に参加している古参です。今年は福岡市内五つの高校一〇七〇名の受験生に試験場を提供しました。全国で約五十八万人がセンター試験を受けていますが、例年受験者中三百名ほどが私どもの大学に入ります。十八歳人口が五年前は、一八六万人、今年は一五五万人、十年後は一〇〇万人近くまで減少します。二〇一〇年の大学厳冬期に備えて福岡工大でもいろいろな計画を実施に移してい



二〇〇〇年頃は
まだよかつたのに今は
今村 正明さん

ますが、その第一弾が「社会環境学部」という新しい学部の設置です。今年と来年は、私が教務部長という立場のため、この新学部の入試計画立案に係わりを受験生を惹きつけることの出来る学部とするために大学あげて努力しているところなんです。十年後に「二〇〇〇年頃はまだよかつたのに今はひどい状況」と愚痴をこぼさずに済むよう、現在が勝負どころと心得ています。大学時代はJazz研に属して楽器をやっていたのですが、最近またふと思ひ立ち、暇を見つけて練習を行っています。こちらは好きこそ物の上手なれといけ良いのですが。

会員・支部の動向を

「ご連絡ください」人事異動や慶弔行事、親ぼくの集いいろいろあつてい

るのだと思ひます。掲載期日がおくれるので、ご不満はあるかと思いますが、会員相互の消息を知りあうためにも、ぜひ、連絡をお願いいたします。

入会の勧め

県人会では毎年恒例の行事として、年度総会および懇親会を催し、会員の親睦交流を図っています。また会員には年一回発行の「会報むつろ」をお届けします。未加入県出身者に入会を勧め下さい。入会あるいは紹介の問い合わせは、県人会事務局へどうぞ。



21世紀へ、もうひとつのクラウンが走り始めました。

CROWN
ESTATE
クラウン エステート アスリートV

セルシオ・クラウン・プリウス・カリーナの
福岡トヨタ自動車株式会社
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目8-28 ☎(092) 731-5555

388.0万円
車両本体価格
(GHJZS171W-AWPVZ)

このごろ 私は

中国のグルメ旅

(成都・昆明・大理・麗江)

吉永 生一さん



伊万里から福岡に来てもうすぐ五十年、会社をリタイアして十年近くになる。退職後は毎年海外旅行を体験してきたが、昨年十一月の四回目の中国旅行は田舎料理を楽しむグルメ旅行となった。

行先は四川省の省都の成都や雲南省の省都の昆明から西北部の高原地帯に広がる大理と麗江である。団長は中国通の福岡日本語センター理事長

ふるさと

江川 洋さん



岩崎氏で五名の少数となる。昆明の石林は十数年前よりすっかり観光地化しているの落胆した。ミャンマーに近く海拔が一九七二メートルで白族が住む大理と納西族が多い麗江は今回の目玉であった。有名な大理では琵琶湖の半分で南北四一キロの洱海に映える満月を愛でながらの酒盛、また麗江では近くに聳えて万年雪を頂く五五九六メートルの玉竜雪山の中腹まで、車とロープウェイで登ったことはい出しの一駒として忘れられない。

今回はグルメ旅行なので各地の庶民の市場を探索しながらその土地の田舎料理を満喫した。激辛の麻婆豆腐や火鍋絞めて直ぐに料理した鶏骨鶏のスープ、それに豚の脳味噌はまだ記憶に新しい。

私達一家五人(両親と兄弟三人)が、満州「大連」より浜崎町(現在の浜玉町)に引き揚げて来ましたが、昭和二十二年の二月でした。当時六才だった私の脳裏に、今になってもはつきりと刻まれている事は、第二のふるさと「浜崎」が、終生忘れることの出来ない暖かさで一家を迎えてくれたことでした。お誂訪さん、虹の松原、鏡山等、今なお訪れる名所だと思っています。

それ以来五十二年、この頃は、第一のふるさと、中国「大連」へ旅を続けています。私達が住んでいた頃から海水浴で有名だった「星が浦」のそばにある大連医科大学と私共の会社との間で「大連CRC」という合作研究所を開設した事が主な理由ですが、五十二年ぶりの故郷の人々は、浜玉町以上の暖かさで迎えてくれました。

現在、私は第三のふるさと「福岡」に住んで三十年以上になりましたが、この街もなかなか素晴らしい、「人生ガンパッテ良かったなあ」としみじみ思う今日この頃です。

男と女の アバンセつくり

稲田 繁生さん



私は昨年六月アバンセの館長に就任した。佐賀新聞社の専務から県立女性センター、生涯学習センターの館長に転身したわけで文字通り第二の人生のスタートだった。

アバンセとはスペイン語で「前進」の意味。五年前に開設された時、公募で名づけた愛称である。

今年二月中旬、二百万人の入館者を記録するわけだが、老若男女、88万県民のみんなに親しまれる公共施設をめざして、「前進」したいと思っている。

アバンセといえば当初は女性センターのイメージが強く、男性の行く所ではないと誤解している人もいたが、最近では男性の利用者も多くなつて

きた。昨年、男女共同参画社会基本法が成立、男と女が同じ目線で共に楽しみながら学び、遊べる施設づくりが求められている。場所も佐賀新聞社のすぐ前で、駅から歩いて10分。佐賀に来られた時はぜひ立ち寄って頂くよう、心からお待ちしております。

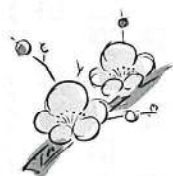
佐賀市天神二二二一
アバンセ

中国旅行の 思い出

脇山 悟さん



佐賀空港開設一周年記念ツアーの中国地方への観光旅行に参加した。出発前の色々な想像を胸に秘め、期待と不安が交錯しながら、当日佐賀から長春まで直行で三時間で到着。早速付近を散策して、人々のパワーが一杯に漲つ



佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

◎佐賀共栄銀が50周年

佐賀共栄銀行（佐賀市、二宮頭取）の創立五十周年記念式典が十一月二十三日、佐賀市の増田会館バル21で開かれ、役職者やOBら約六百人が出席した。

半世紀の節目の年に、長沼富士夫会長が「地元信頼され、親しまれる地域金融機関として、前進することをともに誓おう」と呼びかけた。また、二宮頭取も「強く、深く地域に根ざし、自主独立の健全経営を目指す」とあいさつ。土井謙一郎さん、福田まゆみさんの行員代表二人が「チャレンジャーとして頑張りたい」と決意表明した。

佐賀共栄銀行は昭和二十四年、佐賀無尽会社として発足。同二十六年に佐賀相互銀行となり、平成元年に普銀に転換し、現在の行名に変わった。店舗は三十六店。行員は四百九十人。資金量は二千五百億円。

◎白い馬車でパレード



白い馬車に乗ってパレードする新婚カップル

文化財のチャペルで結婚式を挙げたカップルが十月三十一日、馬車に乗ってパレードした。小城郡小城町の町本商店街が、近くの日本福音ルーテル小城教会の建物が九八年の登録文化財に指定されたことを受け、まちおこしのイベントとして企画した。

新婚カップルは同町の松永直さんと（二〇）と多久市の神之浦千春さん（二〇）。全国でも数台しかない白い馬車に揺られ、松永さんは「少し恥ずかしかったけど、最高の気分」商店街には大勢の人が詰めかけ、ライスシャワーで祝福した。



寒い中で続く真珠の玉出し作業

◎真珠の玉出し

肥前町苅津

続いて金婚式を迎えた同町の梅崎巖さん（七二）、八重子さん（七二）夫妻も馬車に乗り込み、こちらも「夢のようです」と笑顔。

東松浦郡肥前町の玄海灘沿岸で、正月明けと同時に真珠の玉出し作業が始まった。一帯の真珠養殖は昨年まで三年連続で、母貝のアコヤガイが大量死したが、今年は七割近い生息率が見込めそう。作業に取り組み漁家の表情には久しぶりに明るさが戻っている。

二十年前から同町苅津で養殖している寺田茂俊さん（六

◎佐賀空港波及効果

佐賀空港（佐賀郡川副町）

佐賀空港（佐賀郡川副町）が開港から一年間で、県内経済にもたらした波及効果は六百三十五億円にのぼることが、佐賀銀行の試算で八月十七日分かった。この数字は県内GDP（平成八年）を二・二％押し上げ、新たに約六千八百人の雇用を生み出したことになる。

「平成二年県産業連関表」を使って計算したもので、空港やターミナル建設関連投資が二百九十二億円。これに搭乗者が飲食、宿泊、土産代などに消費した分を加えた直接

◎温泉掘り当てた

東松浦郡七山村が八月、温泉を掘り当てた。業者が委託し、同村滝川にある鳴神の丘運動公園の一角を地下九百メートルまで掘削、泉脈を確認した。村は新しい「ホット」な観光資源の出現に沸いている。

九州環境管理協会（福岡市）の分析では二十九度の単純温泉（アルカリ性低張性温泉）で、湯量は毎分四百リットル。神経痛や筋肉痛、慢性消化器病、冷え性などに効能があるという。

温泉が出た場所はグラウンドや交流施設「鳴神の丘ふれあい館」のそばで、農産物販売所「鳴神の庄」や宿泊施設「ロフティ七山」にも近い。同村では平成十三年度に温泉施設を整備する方針。

◎黒澤スタジオ開場

伊万里市

国内外の映画界に偉大な足跡を残した故黒澤明監督の記念館サテライトスタジオが七月二日、伊万里市の中心商店街にオープンした。

映画「乱」の撮影に使った武具のほか、直筆絵コンテ、アカデミー賞のオスカー像な



クロサワの世界が広がるサテライトスタジオ

ど約二百五十点を展示し、世界のクロサワが満喫できる施設だ。

オープンセレモニーには関係者約六十人が出席。黒澤明文化振興財団の黒澤久雄理事長と川本明伊万里市長が「監督の功績を後世に伝えることで、若い人が映画に興味

◎宇宙科学館

武雄市



オープンした県立宇宙科学館

県内初の自然科学博物館「県立宇宙科学館（ゆめぎんが）」が七月八日、武雄市の武雄温泉保養村にオープンした。初日は県内外の約一千人が入場、科学技術に応用した展示物を実際に触ったり操作

◎利用者50万人突破

佐賀空港

佐賀空港（佐賀郡川副町）の国内線乗降客数が十一月二十二日、累計で五十万人を突破。記念セレモニーを開いて、開港から一年四ヶ月目の達成を祝った。

五十万人目は東京都東大和市の荒木真雄さん（六七）。妻の多喜子さん（六四）と孫の彩文ちゃん（五つ）の三人で十八日から小城郡小城町の実家を訪れた帰りだった。



利用者50万人の記念セレモニー

搭乗前に知らされた荒木さんは「突然のことではびっくりした。これで三回目の利用だが、本当に楽しかった」と笑顔。井本知事から荒木さんには花束と記念品（佐賀牛一キロ）、彩文ちゃんにもマスコットキャラクター「むつび」の縫いぐるみ人形が贈られた。同空港の搭乗率は開港から



組み立てスムーズ、段替え自在のタフなニューパートナー

Partner Rack

L&F トヨタL&F 福岡 株式会社

本社・福岡 福岡市博多区東比恵 4-5-14 092-475-4009
博多 福岡市東区箱崎小頭 5-9-40 092-631-4009

TOYOTA L&F お客様に最適な物流システムをご提案します。



[300kgタイプ]

副会長 無津呂 繁美氏の

ご逝去をいたみ

謹んで ご冥福を

お祈り申し上げます。

福岡市佐賀県人会副会長・無津呂繁美氏は昨年十二月十日、入院先の福岡浜の町病院で逝去されました。享年八十歳

主な職歴 中央大学商学部在学時志願し海軍に入隊（十二年）。重巡洋艦妙高、駆逐艦卯月に乗船。南方戦線に従軍、終戦時は宮崎の特攻隊に在籍。

・御無津呂商店代表取締役

戦後、福岡市美野島で無津呂商店開業。

・大正八年一月二十五日生

・南区高木二丁目十七

・無津呂氏



板付に移転、平成五年有限会社とし、

は、昭和三十四年住吉地区で佐賀県人会に入会、

平成九年博多駅南六丁目に移転し現在に至る。

副支部長、支部長と住吉、

福岡市佐賀県人会副会長

十年、佐賀県人会常任理事、

福岡富士町会会長

平成五年、副会長に就任。

筑紫地区塩販組合組合長

本会の発展に多大のご尽力をいただきました。

元福岡商業高校PTA会長

出生地 佐賀県佐賀郡富

元福岡大同青果取引委員長

最終学歴 中央大学商学部

その他多数の各種団体、組織の役職を歴任。

（中退）

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏名	郵便番号	住所（自宅）	電話番号	職業・勤務先	出身地
無津呂 忠				西部毎日広告社	富士町
牟田 倉二郎				株木建設（株）	神埼町
西村 順次				住友建設（株）	鳥栖市
田中 恒房				福二商工（株）	有田町
樺島 義幸				ランドブレイン（株）	武雄市
南川 武夫				アドバンス（株）	芦刈町

佐賀情報センターだより

● 県動き

昨年は、波戸岬少年自然の家やみどりの森県営球場、宇宙科学館のオープンが相次ぎ、子供たちに夢や希望を与えることができました。特に宇宙科学館は福岡からの来館者も多いそうです。さらには、古野ヶ里歴史公園の整備、鳥栖北部丘陵新都市の開発整備、嘉瀬川ダム建設等についても順調に推進するとともに、「佐賀県福祉のまちづくり条例」の全面施行並びに「佐賀県環境影響評価条例」が公布（施行は十二年八月一日）されるなど、「住みたい県」づくりの実現に向けて各種の取り組みがなされています。

本年はいよいよ上四月から介護保険がスタートしますが、高齢者の方に安心してサービスを受けていただけるように、制度実現に向け万全を期していくこととなります。

その他に、十七世紀半ばにヨーロッパの皆さんに感動を与えた佐賀が誇る文化「焼き物」を、今もう一度、世界に紹介するために大英博物館で佐賀県陶芸展が開催されることになっています。

● ヤンターの動き

情報センターでは、各種のイベントを実施することによって情報発信を行っているところですが、前年度より約二倍の数のイベントを開催したことによって来館者数も増加しているところです。今後とも県人会の皆様にもイベント開催案内をしていきますので、気軽に立ち寄ってください。同郷の人や同窓生などとの待ち合わせ場所としての利用もできます。

三月のイベント紹介

三月三日から二十日まで

「花に誘われて佐賀路を行く」

三月二十五日から四月四日まで

「春休み特別絵付け体験」

佐賀県福岡情報センター

福岡市天神イムズ七F

☎092-714-3111

会報むつごろ

平成12年2月25日発行
福岡市佐賀県人会
（発行責任者 田中 秀男）
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商事石油株式会社
☎092-714-3111
制作 有限会社タナカ
☎0955-23-5214

編集デスク

平成十二年の新春をおよろびお申し上げます。西暦二〇〇〇年、佐賀県人会創設五〇周年の記念すべき年に当たります。「真夏の朝市」も実現します。今年ばかりは会員のみならずの全員出席で特別企画総会を成功させていただきたいと願っております。どうかご近所、お友達、ご親戚の方々をお誘い合せの上お出かけ下さい。お待ち申し上げます。

「佐賀県だより」の記事・写真については、佐賀新聞社さんから提供いただきました。毎回のご協力ありがとうございました。尚「新春懇親会」の記事は今回も水間理事に担当していただきました。

（一）